

VOL. 26
2021.夏号

NANAIRO

なないろ



「気切っ子」 卒業おめでとう!!

虹の家で医療的ケアの必要な子供の受入を始めるきっかけとなった、せいちゃんが、今年、気管切開を閉じるという大変うれしい出来事がありました。お母様から温かいお手紙をいただきましたのでご紹介します。

せいちゃん 5歳



令和3年の障がいサービス報酬改定において、 動ける医療的ケア児への支援が大幅に改善されました。

せいちゃんが虹の家に見えたころは、全国的に動ける医療的ケア児がサービスのはざまで、福祉サービスを利用できない状況でしたが、虹の家として微力ながらお役に立てたようで嬉しく感じています。
制度の狭間でサービスを利用できないなど困っている方々に寄り添い、ニーズの実現に取り組める社会福祉法人でありたいと思っております。

お母様からのお手紙

私の息子は声門下狭窄で生後二ヶ月で気管切開をしました。気管切開をするとう聞いたとき命が助かるならお願いします。どうぞ!それに切って治ったらすぐに縫うんだよね。一時的なものだよ。と思ってました。医師から一時的なものではなく気管切開をして閉鎖できるかどうかはわからないと言われ、とても不安になりました。

なんとか気管切開をしないでいい方法はないかと沢山の資料を調べました。その間も息子は息苦しそうにいました。夫から「未来も大事だけど、今苦しんでいる息子を救うことが一番大事ではないか。」と言われ、少しの不安を抱えたまま気管切開の手術を受けることにしました。医師や看護師さんからは、「今は沢山の福祉制度があるから大丈夫よ」と言われました。気管切開の手術はうまくいき、息子は家に戻ってきました。

しばらくはなんとかかなりでしたが、深夜帰宅の夫に姉二人はまだ4歳、2歳で手がかり、吸引も多い息子は、夜中も数分おきの吸引でした。日中の看護師さんに二時間入ってもらっても、こどものお世

えやご飯の支度、そして姉たちのお風呂と時間はすぐに過ぎてしまい、そんな日々を過ごしていると体は限界にきました。

助けてくれると聞いていた福祉は、気管切開だけであることを理由に全て断られてしまいました。なんとか、道は開けないだろうかと沢山の事業所に電話をかけました。どこにかけても、うちは小児はしていないから保育園を探したら?保育園にかければ障がいのある子、医療的ケアのある子は受け入れていない、大きなセンターにかけても気管切開だけでは預かれない。と断られました。少し諦めもありながら事業所の一覧から順に電話をかけて数日たったとき、虹の家の方々が話を聞いてくれて「前向きに考えますから。」とってくださいました。お断りされるのが当たり前になっていたので、私は「本当に?いいんですか?気管切開児なんですすよ?」とあれやこれや受け入れてほしいという電話をしているのに、何度も何度もいいんですか?と確認。そこからは驚くほど早いこと。

NICU経験の豊かな看護師さんが来てくれることになり、お部屋にベビーベッドができて沢山の赤ちゃんが増える増える。息子は当時1歳でしたが、それはそれ

はニコニコ。皆に沢山甘えてまた他の利用者さん、更に利用者さんの親御さんにも、たいへん可愛がってもらいました。間違いなく最年少らしく甘えん坊かつ甘え方をわかってきた我が息子。

どんどん成長していき皆に可愛がられ我が家はとても笑顔が増えました。息子を笑顔で受け入れてくれる人がたくさんいるんだ。と心がとても爽やかになりました。

虹の家にたくさんの医療的ケア児が集まりました。そして今も、たくさんの子が虹の家の皆さんに愛されていると思うと心があたたかくなります。

息子はこのたび、気管切開を卒業し、元気一杯の4歳児。この春でもうすぐ5歳です。

息子だけではなく、私たち家族は本当に沢山の皆さんに支えられてきました。今後は私もなにか障がいのある子のお手伝いができないかと考え保育士の資格をとりました。まだまだ初心者マークつきの保育士ですが今後、多様性に対応できる保育士を目指しています。今度は誰かの助けになればいいな。そう思えるようになったのは多くの人の優しさにふれたからだとおもいます。

本当に皆様ありがとうございました。

第2回 3法人合同学術大会

令和3年6月20日(日)ZOOMを使用した合同学術大会を開催しました。NPO法人列島会から4演題、特定非営利法人ゆとりから3演題、あきの会から4演題の合計11演題の発表がありました。それぞれの法人の活動内容を共有するための機会であるとともに、専門性を高めるための示唆を得ることが出来、有意義な学術大会となりました。優秀表彰と理事長賞は以下のようになりました。



『問題行動を伴う自閉症スペクトラム児への多職種少人数制チームアプローチ』

社会福祉法人あきの会 療養部(児童指導員)

萩原 琢

内容

医療・福祉の多職種かつ少人数制チームによる、問題行動の分析及び支援方法の統一を図り、自傷行為や癇癪、脱衣更衣や過剰な抱っこ要求が減少した、6歳の自閉症児の事例報告。



強度行動障害者のショートステイ利用を 目的とした海グループでの取り組み

NPO法人列島会 生活介護(保育士)

児玉 鷹人

内容

他事業所で短期入所を断られていた方の生活介護利用を開始し、短期入所利用が可能となった、強度行動障害生活介護海グループの支援方法の報告。



知的障害及び身体障害を呈した症例の就労支援 ～本人の「働きたい」を尊重した介入～

特定非営利活動法人ゆとり 就労支援(作業療法士)

清水 由佳

内容

身体的機能低下により就労支援A型での就労が困難となった事例に寄り添い、本人・家族・医療機関・相談支援・行政など関係機関と連携を図りBへスムーズに移行できた経過報告。



妊娠・出産を経た知的障害を持つ母親の 支援に対する相談支援の関りについて

NPO法人列島会 計画相談(作業療法士)

老川 大輔

理由

医療機関・保健師・訪問看護・訪問介護など多くの機関と連携及び相談をしながら、本人と子どもに最善と思われる対応を丹念に協議されている点を評価。計画相談の思い込みや、パッケージ的な計画になる相談支援の多い中、素晴らしい。



就労継続支援A型利用者の退職者の傾向

社会福祉法人あきの会 みかんの樹(作業療法士)

諸星 和希

理由

データを分析して、その中から課題を見出し、改善を行うという取り組みを評価した。事例報告も良いが、今後はデータ分析を行えるようになってほしい。

リハビリテーションレポート 第2回

呼吸リハビリテーションの取り組み

担当者: 中川 智久 (理学療法士・サービス管理責任者)

今年、虹の家に入職して4年目を迎えます。医療と福祉の両面から患者様だけでなく家族も含めてその人らしく、その家族らしい生活が送れるお手伝いをしたいと想いながら日々の生活を送っています。

睡眠時無呼吸症候群に対するポジショニング

田中 浩司様 40代 脳性麻痺

夜間に舌根沈下によるいびきや睡眠時無呼吸症候群を認めたため、ポジショニングの検討を行いました。普通の側臥位だと効果は見られず、体動が激しく自力で仰臥位に戻ることがあり、『前傾腹臥位』というポジショニングを実施しています。



普通の側臥位



前傾腹臥位

前傾腹臥位のポイント

- 1 頸部が過度に前屈、後屈、側屈していないこと
- 2 下側の四肢が潰れておらず、腕の上にクッションが乗っていないこと
- 3 上側の肩峰が下側のより前にきていること
- 4 上側の下肢は股関節・膝関節屈曲位で下側の下肢は股関節伸展位であること
- 5 下側の太ももと腓骨頭が除圧されていること

臥位装置の活用

野村 寿恵様 50代 脳性麻痺

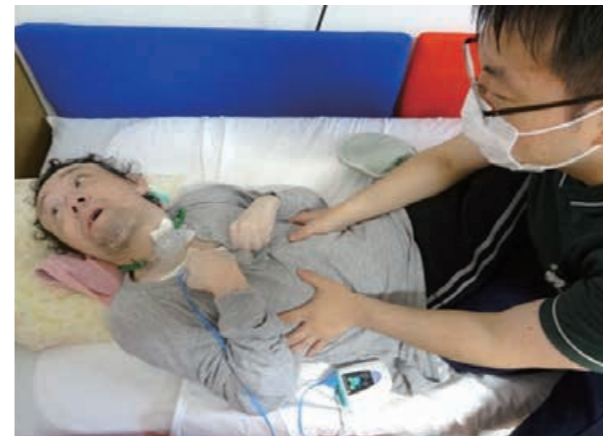


痙直型の脳性麻痺で、筋肉の緊張が亢進するタイプで、背中や頸部の反り返りが強いいわゆる伸展パターンとなり、側弯症もあります。

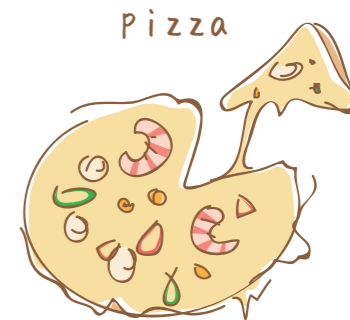
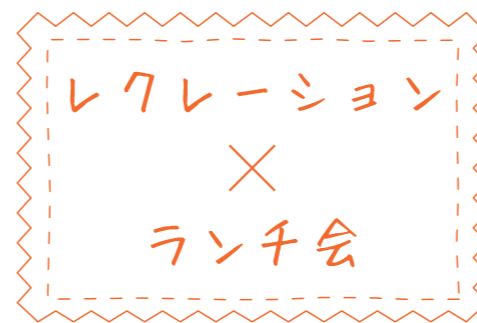
側弯症があると脊椎や肋骨のアライメントに影響を及ぼし、それが胸郭の広がりにくさに繋がり呼吸にも影響(拘束性換気障害)してきます。野村さんはサーチや呼吸回数などは大きな問題はありませんが、左側弯症で凸側の左肺に比べて凹側の右肺は出入りする空気が少なく、高い筋緊張に加えて変形のある上位肋骨の可動性が著しく乏しい状態です。そこで筋緊張の緩和を図りリラックスした状態を作り、背臥位では広がりにくい下側の肺のエア入りを改善するために腹臥位装置を取り入れました。腹臥位姿勢になることで筋緊張も落ち若干ですが深い呼吸ができるようになりました。1分間に18回程度だった呼吸回数も15回程に減少。分泌物や痰の喀出にも繋がり肺炎予防も期待できます。

呼吸理学療法

釜 和弘様 40代 (脳性麻痺・気管切開)



私たちは吸った空気を上気道で100%加湿して、37度に加温して肺にまで空気を届けています。気管切開により上気道がバイパスされるため、呼吸器使用の方は必ず加湿加湿器が機械と喉元の間に入り、呼吸器使用でない方も乾燥した空気が直接入ってこないように、人工鼻という呼気の水分を吸収して、吸気の空気に加温するという道具を使用します。しかし、釜さんは気管切開部からの痰や分泌物が多く根詰まりを起こし窒息の危険があるため、人工鼻の使用が出来ません。また、過去に肺炎を繰り返されておりガス交換に関与しない肺胞(無気肺)の存在や2cm無い胸郭拡張差(拘束性換気障害)など換気機能不良で、日頃の呼吸器ケア重要になります。看護師による吸引や吸入、生活支援員による加湿器の水の入れ替え等の生活環境の整備と同時に、リハビリによる呼吸リハ(聴診を行い肺雑音の有無の確認、分泌物貯留場所に依じた排痰肢位の選択、呼吸介助、胸郭運動に関わる筋肉のストレッチ、吸引等)でチームアプローチを実施しています。



4名の入所の皆さんで、
外食気分を味わいました。

令和3年
5月18日



令和2年度 実績報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大による1回目の緊急事態宣言において、短期入所は原則中止し、生活介護は数を減らして実施しました。その後は、感染対策を行ったうえで、事業継続を行うことが出来ました。

01 入所事業〔療養介護事業・医療型児童入所施設〕

1 令和2年度入所者月別利用数及び入退所数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院数	45	45	45	45	45	47	46	46	45	44	44	45
内児童数	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3
入院延数	1,229	1,322	1,336	1,322	1,304	1,406	1,229	1,351	1,361	1,361	1,388	1,278
新患者数	3	1	1	1	1	1						
退院数		2				1		1				

2 令和2年度入所者の入所前居住地

博多区	東区	中央区	早良区	城南区	南区	西区	古賀市	糟屋郡	大川市	遠賀郡	北九州市
8	7	4	11	1	6	4	2	3	1	3	1

3 令和3年4月1日付入所者状況

年齢及び男女比

年齢区分	歳	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	15~17	18~20	21~23	24~26	27~29	30~34
人数	男		1						3	1	1	3
	女		1	1				1	1	1	2	5
年齢区分	歳	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65歳以上	合計	最低	最高	
人数	男	4	3	3	2	1		1	23	3	65	
	女		3	4	2	1		1	23	2	66	

●大島分類

	21	22	23	24	25	80
					1名	
	20	13	14	15	16	70
	19	12	7	8	9	50
			3名			
	18	11	6	3	4	35
				5名	8名	
	17	10	5	2	1	20
		1名		8名	17名	
走れる		歩ける	座れる	寝たきり	歩行障害	IQ

●医療的ケア

医療的ケア	人数
人工呼吸器	2
気管切開	6
経鼻経管栄養	1
胃瘻	15
腸瘻	2
腹膜透析	
血液透析	
合計	26

●障害区分

区分	人数
区分1	
区分2	
区分3	
区分4	
区分5	1
区分6	42
未	3
合計	46

●その他 第三者後見 3名

02 外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者総数(延)	45	45	45	45	45	47	46	46	45	44	44	45
新患者数	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3

03 短期入所

1 短期入所利用数(日中一時含む)

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
医療型	216	159	183	293	314	295	330	340	319	323	336	367
福祉型					19	97	91	81	118	74	84	150
延利用数	216	159	183	293	333	392	421	421	437	397	420	516

2 重症度

区分	なし ※なしは18歳未満	1	2	3	4	5	6
人数	43			1		13	103

重症心身障害			重症心身障害以外			重度加算1	28
人工呼吸器	医療的ケア	重症児	医療的ケア	身体障害	知的精神発達	重度加算2	19
11	39	83	14	11	2		

04 生活介護

1 月別利用数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
353	274	400	489	444	450	524	507	517	411	498	540

2 登録者居住区

博多区	東区	早良区	中央区	西区	南区	城南区	糟屋郡	春日市	古賀市	その他	合計
13	10	10	3	9	8	6	3	1	2	2	67

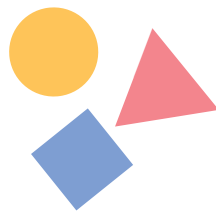
3 年齢及び男女別登録数

年齢区分	歳	17~20	21~23	24~26	27~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	合計
人数	男	4	3	4	7	1	4	1	1	1	0	0	26
	女	1	2	3	2	5	7	3	3	2	2	1	31

4 重症度

障害支援区分	1	2	3	4	5	6
人数			1	2	10	54

重症心身障害者			重症心身障害者以外		
人工呼吸器	医療的ケア	重症児	医療的ケア	身体障害	知的精神発達
5	13	35	7	6	1



社会福祉法人
あきの会

<http://akinokai.jp/>

虹の家

療障がい児者医療生活支援ホーム

〒812-0044 福岡市博多区千代一丁目15番10号

TEL/092-651-7325 FAX/092-651-2420

みかんの樹

MIKAN 森のかまど やの亭

〒811-0101 福岡県粕屋郡新宮町原上1223-4

TEL/092-962-0585 FAX/092-962-0527



Instagram